



こども未来局
保育・子育て推進部

令和8年9月1日
白山保育園

9月9日は救急の日です。事故やけがはちょっとした心がけで防げることもあります。この機会にご家庭での安全対策について確認してみましょう。

9月保健行事

園医健診：9月4日（金） 1歳児

8月保育園で発症した感染症

なし

9月9日は「救急の日」

ご家庭でも、日常生活の中で起こりやすい事故やけがを防ぐため、身の回りの危険な場所がないか確認してみましょう。



窒息・溺水について

- ・浴室やバケツなど、水回りでの事故（溺水）に気をつける
- ・小さな電池（ボタン電池など）の誤飲に注意する

転倒・転落について

- ・床に物を置きっぱなしにしない
- ・引き出しや扉の開閉に注意する
- ・ベランダや窓付近に踏み台になるものを置かない、窓の鍵にも注意する

交通事故について

- ・道路を歩くときは大人と手をつなぐ
- ・信号や横断歩道の交通ルールを知らせる
- ・飛び出しをしないよう繰り返し伝える



蚊の発生を防ぐには・・・

○蚊を発生させない

蚊は、放置された空き缶、水の溜まった鉢、古タイヤ等の小さな溜まり水に卵を産み、それがふ化してボウフラ（幼虫）が発生します。不要なものは“廃棄”し、溜まった水は『週に1度』は“ひっくり返して捨て”、日頃から水が溜まる場所を作らないようにしましょう。

○蚊は卵からどれくらいで ふ化する？

約1週間でふ化します。

産卵後数日から約1週間でふ化して幼虫となり、その後10日ほどで成虫になります。

○蚊にさされないための対策は？

- ・長袖長ズボンを着る。
- ・庭に放置された鉢の水は週に1回ひっくり返す。
- ・虫よけ剤を使用する。
- ・明るい色の洋服を着る。



蚊に刺されると・・・

- ・紅班（赤くなる）⇒膨しん⇒丘しん（皮膚が盛り上がる）
特にまぶたを刺されると、かなり腫れかゆみを伴います。
- ・かきこわして、細菌の二次感染を起こし、とびひになることもあります。

○蚊に刺されたら、刺された箇所を水道水で洗い、刺された箇所を冷やしたり、市販の虫刺され軟膏を塗布したりします。

参考資料：こども家庭庁「こどもを事故から守る！事故防止

ハンドブック」

イラスト出典：メイト